

推薦図書

『頭のいい会社はなぜ、企業型確定拠出年金をはじめているのか』

著者：株式会社 Financial DC Japan 代表 岩崎陽介 氏

出版社（発行年月）：青春出版社（2022/4 発行）

Amazon サイト：<https://www.amazon.co.jp/dp/4413232461>

パートナーの皆様にはテキストとしてお読みいただく事をお薦めいたします。

著者は当社パートナーとして活躍されている岩崎さんです。岩崎さんは昨年5月からSVとなり、自ら確定拠出年金制度を普及・推進するばかりでなく、確定拠出年金制度推進役となるパートナーの採用・育成にも力を尽くされていらっしゃいます。

この本では岩崎さんが確定拠出年金制度に取り組む情熱、熱量の大きさを感じました。岩崎さんの当社での営業実績はご本人が本に書いていらっしゃる通りですが、実績を裏付ける内容に納得がいきました。

選択制の制度設計をユニクロ方式と呼ばれることがある事は皆様もご存知かと思えます。ユニクロで当時、確定拠出年金制度導入を担当された松岡氏にインタビューされた内容は私も初耳であり大変参考になりました。

確定拠出年金制度は税制上、優遇された制度です。また給与減額による選択制の場合、社保軽減の効果も期待できます。しかしながら岩崎さんは「社会保険料を下げることを目的としての導入は、企業型確定拠出年金制度の本質ではありません」、また「従業員のための福利厚生制度で、制度を良い形で導入、運営していこうと思ったらコストがかかるのは当然で、そのコストの一部を、うまくいけば社会保険料の減額で穴埋めできる可能性がある、くらいに捉えるのです」と言い切っておられます。

経営者の目線に立って、従業員の成長を促す仕組みとして、従業員が豊かな老後の生活を送ってもらうための福利厚生制度として提案されています。

本文中には導入事例を9つ紹介されています。具体的な内容で、その対応方法が適切でありパートナーには役に立つ事例です。

また第三章の「導入を決定する前に確認しておきたい5ポイント」はパートナーの皆様が確認しておきたいポイントでもあります。なかでも「顧問税理士、社労士への事前根回しが大切」に感心いたしました。当社パートナーには税理士・社労士の先生方もいらっしゃいますので大変恐縮ですが、岩崎さんは事前に根回しをすることで適切な配慮を示し、税理士や社労士にも制度導入の味方になってもらうことです、と普通は考えが及ばないところまで行き届いており脱帽です。

岩崎さんのこれまでの経験に基づくノウハウが惜しみなく掲載されています。パートナーの皆様には是非、お読みいただきたいと思えます。

(営業推進チームリーダー 藤田)